



ニュース

# 第18号

2010年9月25日発行  
トップス広島 事務局  
〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

広島西飛行場ターミナルビル1F

TEL; 082-233-3233 FAX; 082-233-3251

URL; www.tops-h.net

### \*加盟団体\*

- ・NTT西日本広島
- ・サンフレッチェ広島 ソフトテニスクラブ
- ・JTサンダース
- ・中国電力陸上競技部
- ・湧永製菓
- ・コカ・コーラウエスト
- ・広島メイプルレッズ レッドスパークスホッケー部
- ・広島ガスバドミントン部
- ・広島東洋カープ

ニュース

## サマーリーグV4



# 移籍神田MVP

バレーボールのサマーリーグ決勝リーグは11、12日に愛知県春日井市総合体育館で行われ、JTが3試合すべてストレート勝ちで4年連続5度目の優勝を飾った。

ともに2連勝で迎えたFC東京との最終戦、JTはFC東京と全勝対決となったが、攻守に安定したJTが勝利した。最優秀選手に大分三好から移籍した神田聖馬が選ばれた



## お疲れさん 41歳高橋が引退

カープの左腕高橋建投手(41)が今季限りで引退すると8日、球団が発表した。横浜高から拓大、トヨタ自動車を経て1995年にドラフト4位で入団。昨季、FA宣言して大リーグ・メッツ入り、日本選手最年長の40歳でメジャーデビューを果たした。

復帰した今季は4勝5敗、6月21日に2軍落ちした。

日本での通算成績は70勝92敗5セーブ、防御率4.34。メジャーでは1敗。29日の横浜戦(マツダ)で引退セレモニーがある



## 悲しいナ

9月に入って悲しいニュースが相次いだ。

7日に神宮でのヤクルト戦でサヨナラ負け、9年連続のシーズン負け越しとなった。

9年連続の負け越しは、球団が出来た1950年から59年にかけての10年連続に次ぐワースト記録。

また、この日の逆転負けは今シーズン35度目となった。

さらに5日後の12日、東京ドームでの巨人戦で1-5の敗戦。18試合を残し、1998年から13年連続のBクラスも確定した。残り試合は少ないが最後まで頑張してほしい。

## 9年連続負け越し・13年連続Bクラス



## 日本代表に酒井

### 世界選手権



25日、イタリアで開幕の男子世界選手権日本代表にJTからリベロ

の酒井大祐が選ばれた。

大会は24チームが参加。日本は1次リーグで開催国イタリア、イラン、エジプトとA組に入った。各組3位までが2次リーグに進出する。

## トップス仲間が初の合同応援

陸上の中国電力、ハンドボールの湧永製菓、ソフトテニスのNTT西日本広島、バドミントンの広島ガスなどトップスの仲間が23日、マツダスタジアムのヤクルト戦を合同応援した。カープへの声援は初めて。家族を含めて約100人が3塁側外野席に陣取り、大声で「カープ、頑張れ」一。四回には大型ビジョンに「トップスの皆様」と紹介され、歓声をあげて応えた。湧永製菓の新人、樋口選手は「参加は初めて。こんな機会がふえればうれしい」と笑顔で声援していた。

## カープ 頑張れ

### 日本リーグ

## 2年連続2位



ワールドカップなどで中断していた日本リーグ女子は19日再開、20日にかけて2試合行った。

初優勝を目指したコカ・コーラウエストは、東海学院大、山梨学院大に連勝したが、2試合を残して昨年に続き2位が確定した。優勝はソニーで4年連続5度目。最終節は10月9、10日行われるが、コカ・コーラウエストは最終戦でソニーと対戦する。



## ヤマザキビスコカップ 初の4強

サンフレッチェがクラブ史上初のヤマザキビスコカップ4強に進出。今回はアジア・チャンピオンズリーグ(ACL)出場が準々決勝からの登場となった。相手は同じACLに出場したG大阪。ホーム・アンド・アウェー方式の第1戦は落としたが、アウェーの第2戦は2-1で下し1勝1敗とした。得失点差でも並んだが、アウェーゴール数で上回り、逆転で初の準決勝に進んだ。準決勝は清水との対戦で、第1戦は29日にホーム、第2戦は10月10日にアウェーで行われる。

### 天皇杯3回戦はJ2福岡

天皇杯は2回戦から参戦、デッツォーラ島根と戦い4-0で快勝。3回戦は10月13日にJ2福岡とコカ・コーラウエスト広島スタジアムで対戦する

### 《Jリーグ 成績》

※第21節  
○2(0-0、2-1)0山形  
※第22節  
▽1(0-0、1-1)1C大阪  
※第23節  
▽1(0-1、1-0)1神戸  
《ヤマザキビスコカップ》  
※準々決勝  
●0(0-0、0-1)1G大阪  
○2(1-0、1-1)1G大阪  
\*1勝1敗、アウェーゴール数で上回り準決勝進出  
《天皇杯》  
※2回戦  
○4(2-0、2-0)0  
デッツォーラ島根



エース佐藤寿人が右肩鎖関節脱臼で全治2カ月と診断された。佐藤は8日のナビスコ杯準々決勝第2戦の後半、芝に足をとられ転倒し右肩を強打、試合途中で退いた。10日に手術した。  
佐藤は今季、全21試合に先発、9ゴールを挙げている。

# 痛い! 佐藤が離脱

## 全治2カ月 右肩を脱臼

### 日本リーグ開幕



ハンドボールの日本リーグは4日開幕。男子の湧永製薬、女子のメイブルレッズは、ともにまずまずのスタートを切った。

湧永製薬は初戦は大同特殊鋼に敗れたが、琉球、トヨタ車体に連勝。メイブルレッズは開幕戦で北国銀行に逆転負け、続くオムロンに引き分けたが、HC名古屋、三重に連勝、いずれも白星先行している。

メイブルレッズの大前典子が12日のHC名古屋戦でリーグ17人目となる通算400得点、菅野喜恵が19日の三重戦で通算200得点をマークした。

大前400得点・菅野200得点



### 小池組 準優勝

#### 全日本社会人選手権

バドミントンの全日本社会人選手権は3日から7日間、広島グリーンアリーナなどで開かれ、女子ダブルスの小池は今別府(東京)と組んで出場、準優勝を飾った。早川・橋本組は前年と同じ16強。シングルスでは本山が3回戦で昨年4強の村松(大阪)を破る金星を挙げたが、4回戦で準優勝した幡谷(熊本)に敗れた。混合ダブルスは井上の16強が最高だった。

#### 【シングルス】

▽2回戦 本山2-0岡測(東京)、武田2-0佐野(愛知)、前田0-2平山(茨城)、後藤2-0中口(東京)▽3回戦 本山2-0村松(大阪)、武田0-2栗原(東京)、後藤2-0田中(鳥取)▽4回戦 本山0-2幡谷(熊本)、後藤0-2福万(大阪)

#### 【ダブルス】

▽2回戦 小池・今別府(東京)2-0山下・西屋(愛知)、後藤・本山2-0今泉・中(富山)、井上・前田2-0山本・垣岩(鳥取)、早川・橋本2-0松下・宮城(和歌山)▽3回戦 小池・今別府2-0川上・三瓶(金川)、後藤・本山1-2橋本・新玉(千葉)、井上・前田2-1末長夏・末長南(山口)、早川・橋本2-0石塚・笠原(栃木)▽4回戦 小池・今別府2-1中村・西川(兵庫)、井上・前田0-2多谷・福万(大阪)、早川・橋本2-0平山・栗原(栃木)▽5回戦 小池・今別府2-0田井・樽野(東京)、早川・橋本0-2松友・高橋(東京)▽準々決勝 小池・今別府2-0藤井・垣岩(熊本)、▽準決勝 小池・今別府2-0今井・大森(宮城)▽決勝 小池・今別府1-2松友・高橋(東京)

#### 【混合ダブルス】

▽1回戦 井上・松浦(愛知)2-0高佐・仲側(神奈川)▽2回戦 井上・松浦2-0松井・草薙(大阪)、早川・宮田(大阪)2-0山田・榎本(埼玉)、橋本・佐藤(愛知)2-0佐藤・今井(東京)、小池・木村(愛知)2-0久保・鈴木(東京)▽3回戦 井上・松浦2-0中嶋孝・中嶋愛(群馬)、早川・宮田0-2牛島・横田(東京)、橋本・佐藤2-0明石浩・明石倫(埼玉)、小池・木村2-1青山・富永(石川、埼玉)▽4回戦 井上・松浦(不戦勝)谷川・細川(富山)、橋本・佐藤0-2川口・小椋(大阪、兵庫)、小池・木村1-2数野・金森(東京)▽5回戦 井上・松浦0-2川前・田井(東京)

### ☆ 中国電力 陸上競技部

11月3日

#### 国際平和マラソン

あなたも尾方選手と一緒に走りませんか。

北京オリンピック男子マラソン代表の中国電力・尾方剛選手が11月3日に広島市西区でのひろしま国際平和マラソンのピギナーコース(5キロ)にゲストランナーとして参加する。

今年で30回を迎える同大会。尾方選手は熊野中時代の3年間出場、3年生の時に5キロ部門で2位に入賞している。

### 5キロコース

#### 「懐かしい」

37歳になる尾方選手だが、陸上への思い入れは、まだまだ強い。

「国際平和マラソンは、私にとっては懐かしいレースのひとつ。多くの一般ランナーと道路を一緒に走るとはめったにない。今回は楽しんで走りたい」と当日を心待ちにしている。

そして「大会に参加して、陸上や走りに興味を持ってもらえれば…」と、陸上へのPRも忘れずに付け加えた。

日本を代表するランナーと皆さんも楽しんではいかがですか。

尾方選手と楽しく走ろう……

全日本社会人選手権は4、5日に天沼テニス公園などで行われ、一般男子の水澤・岩崎ペア、一般女子の埜田・山本ペアはいずれも準決勝で敗れ、3位となった。

一般女子では佐々木・大庭組が準々決勝に進んだが、あと一歩及ばず、8強で姿を消した。

3位が最高  
全日本社会人



### U-20 榎本 惜しくも3位

ソフトテニスのJOC杯全日本ジュニア選手権(シングルス)は11、12日に広島市中央庭球場などで開かれた。U-20女子で榎本有花が準決勝で準優勝した深沢(東芝姫路)に1-4で敗れ、惜しくも3位となった。榎本は予選リーグを3戦全勝の1位で突破、8人で争う1位トーナメントに進出した。

山本彩加は予選リーグ1勝2敗で3位となり、3、4位トーナメントに進出したが、初戦(2回戦)で姿を消した。

全日本ジュニア  
ソフトテニス



#### \*ロゴマークの意味\*

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。

ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。